

2024年 事業所職員向け 多機能型事業所スピカ 自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	該当なし	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	2			施設要件は満たしています。限られたスペースの中で、場所の使い方を職員同士で話し合い、活動の場を確保していきます。
	②	職員の配置数は適切であるか	3	1	1		児童発達支援管理責任者、保育士、児童指導員の配置に加え、人員配置基準通りに配置しています。個別対応が必要なケースもあり、人員不足を感じる状況もありますので、職員全員で業務改善に努めてまいります。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2			3	利用児童の状況に応じて必要なバリアフリー化に努めてまいります。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5				支援／運営についての目標を話し合い、同時に振り返りも行っています。今後も職員で話し合い、業務改善に努めてまいります。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	1			自己評価表を集計し反映しております。アンケート調査の結果について職員全員で話し合い、職員全員で業務改善に努めてまいります。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5				2022年度(2023年2月)よりホームページで公開しています。(毎年更新)
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	1			キートス・アイ・アール株式会社(Kitos・Ai・R INC.) 倉方 利昌さんに第三者委員会を依頼しています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5				内部研修及び、Web講習による外部研修を推進してまいりました。引き続き職員間の学びを深め合っています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5				保護者の方のご要望の聞き取り、児童の療育の進捗状況等を判断し、ニーズを取り入れながら療育内容に反映出来るような計画作成に努めています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5				個人の成長、発達や家庭の環境なども鑑みて児童発達支援計画を作成しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	1			活動(e-ラーニング)については、毎月の職員会議で意見を出し合いながら計画を立案しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	2			活動(e-ラーニング)が偏らないように、利用児童の興味関心、発達に合わせた活動プログラムを考えています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5				基本的に、平日、休日、長期休暇で課題を変えずに、児童が安定して通える環境を構築しているようにしています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5				集団活動は等デイの特性上難しいですが、個別活動に特化したサービス計画を作成しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5				支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5				支援終了後に職員間で必ず反省会をし、その日行われる支援の内容の検証や改善点について話し合っています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5				HUGを使った連絡帳で記録を毎日保存しています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5				更新の時期に合わせてモニタリングを行い、支援内容を見直しています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	4	1			デイの事業計画にガイドラインの総則の基本活動をのせ、それらを日々の支援のなかで複数組み合わせ実施しています。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5				今年度は7件のサービス担当者会議を実施しました。学校と市を交えて、施設長 兼 児童発達支援管理責任者が参加しています。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5				学校とデイ職員が直接、または保護者より直接情報をうかがい、共有しています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4			1	現状では、医療的ケアが必要な子の利用はありません。その他、アレルギーのフォローが必要なケースについては、個別に対応しています。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	1		2	今年度は3人の利用者に関して、関係施設より引き継ぎを受けました。今後はさらに連携していけるように努めてまいります。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	1			18歳で卒業する児童が1人いましたが、その後の就労に向けて自治体と連携して支援の方法を模索しています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1			児童発達支援センター及び、相談支援事業所や併用事業所などと連携し、情報共有を図っています。

百との連携	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	1		今年度は大学生のボランティアと交流する機会が作れました。
	②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	1		「つながる相談窓口」(社会福祉協議会)等、市が連携を促す協議会に参加しています。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			日々の送迎時、個別支援計画受け渡し時、また連絡帳を通して、子どもの状況や発達、課題について共通理解を図っています。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	1		保護者から相談があるケースに関しては、常にヒアリングと共に、簡易的なペアレント・トレーニングの支援を行っています。
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			利用契約時に必ず実施しております。契約後も利用者から質問があれば回答をしています。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	1		日々の送迎時、個別支援計画受け渡し時、また連絡帳を通して、子育ての悩み等、家庭内でのことについての相談に応じてきました。必要に応じて子どもの様子を共有し、助言を行っていきます。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5			今年度より、保護者会も兼ねた親の会を月/1回のペースで開催しています。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			事業所で受けた苦情については、協議しながら迅速に対応する体制が整備されております。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			HUGを使った活動表にて、活動予定を周知しています。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	5			個人情報については、法人全体で規定を設け、取り扱いについては十分に注意をまいります。
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			子どもの発達に合わせた意思疎通のとり方を職員間で話し合い実施しています。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	1		「なないろファーム」さんや「バルーンアーティスト」と連携させて頂きました。今後も、地域のボランティアの方々との交流は取り入れていきます。
	非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5		
③⑲		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			毎年9月に火災避難訓練、毎年5月に地震避難訓練を実施しています。
④⑩		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			虐待の外部研修に応募しましたが定員オーバーで参加は見送りとなりました。事業所内の研修にて補っていきます。
④⑪		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5			緊急時やむを得ず身体拘束に類する行為が行われることを想定しうる児童については、児童や保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上で個別支援計画に記載しています。
④⑫		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5			個別面談時に利用児童全員のアレルギー調査(食物アレルギーも含む)を行い、対応方法について、保護者と話し合っています。
④⑬		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			ヒヤリハットが発生した場合には、報告書を作成し事業所内で共有するとともに、本部事務局への報告を徹底しております。